ほしぞらてつどう星空鉄道

絵:ちから

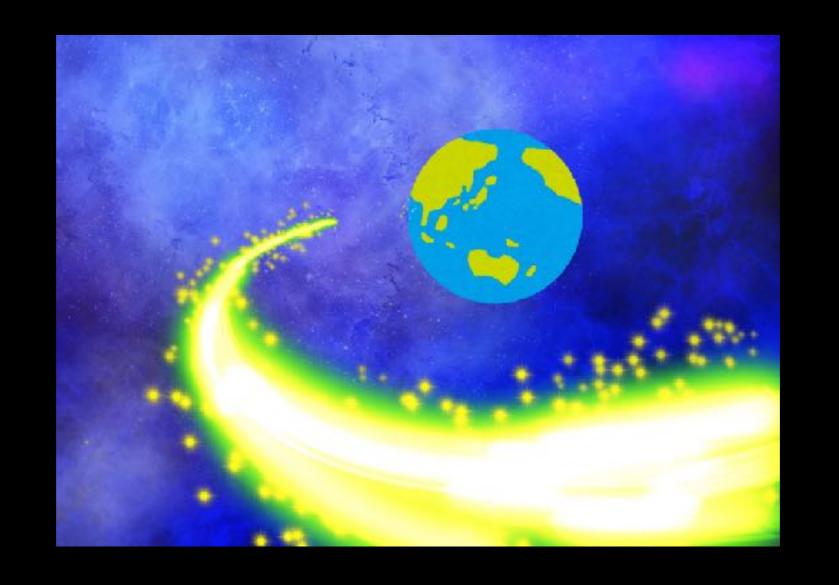
作:ダッシュニン



ぎんがてつどう銀河鉄道

絵:ちから

作:ダッシュニン



夜空を見上げると流れ星を見つけることがあります。 その中に、子どもたちにしか見えない光があります。 それは、子どもたちの夢を乗せて走る 星空鉄道なのです



ある日、テツオたちは学校で「得意なこと」という テーマのスピーチの宿題を出されてしまいます。 でも、自分の「得意なこと」が思い浮かばず、悩ん でしまします。 ふと、夜空を見上げると流れ星です。



流れ星が落ちてきます。 造がます、それは・・・



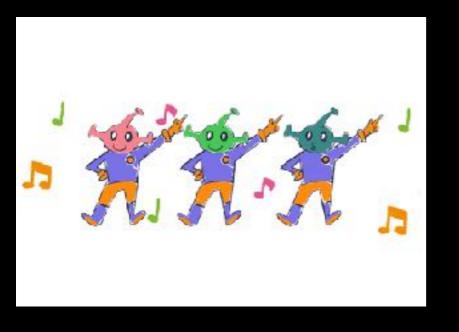
星空鉄道が地球にやってきた光だったのでした。

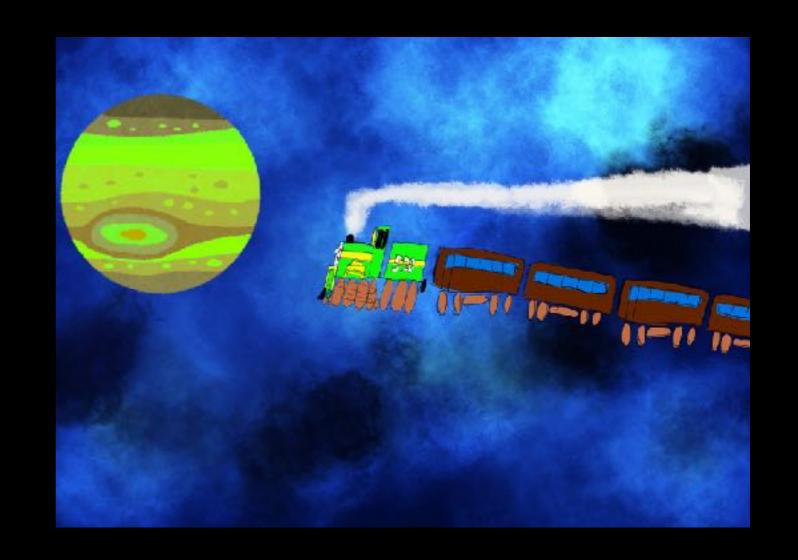


星空鉄道から降りてきたのは 車掌のミイでした。



ミイに誘われるまま、子どもたちは星空鉄道に 乗り込みます。 子どもたちを乗せた星空鉄道、夜空に舞い上が り走りだします

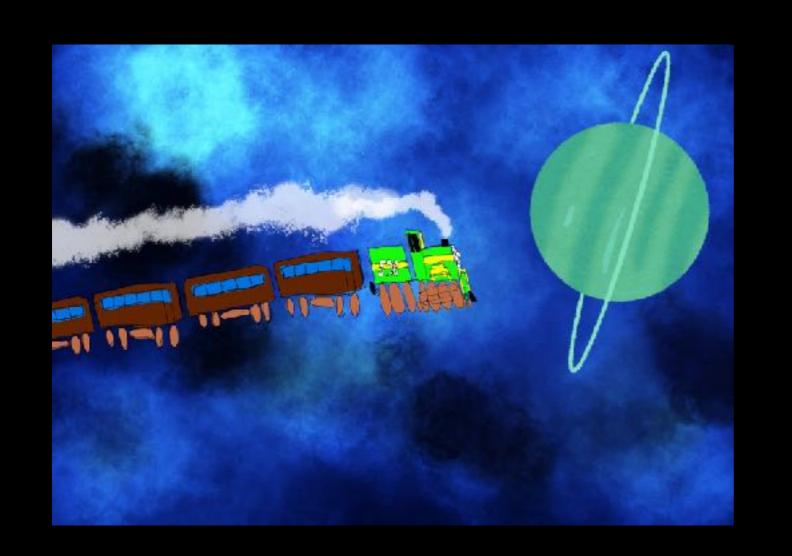




星空鉄道が最初に向かったのはダンスが とくい ひと 得意な人たちが住む 惑星オードリでした



惑星オードリに着いたテツオたちは 素敵なダンスでむかえられます



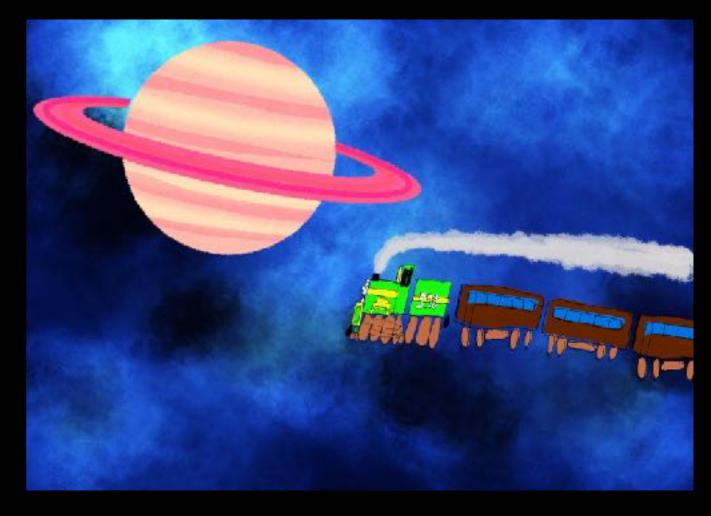


^{ほしぞらてつどう} つぎ む 星空鉄道が次に向かったのはスポーツが とくい ひと 得意な人たちが住む W星雲でした



W星雲に着いたテツオたちは いっしょ 一緒にスポーツを楽しみます





はしぞらてつどう つぎ む 星空鉄道が次に向かったのは たの とくい ひと 楽しませることが得意な人たちが住む 惑星ジーノでした



惑星ジーノに着いたテツオたちは いろんなパフォーマンスを 見せてもらいます



3つの星をまわりテツオたちは気づきます。 「得意なこと」とは 自分の好きなことでいいのだと。



大切なことに気づくことができたテツオたち ほしぞらてつどう は星空鉄道に乗り込み 地球へと帰っていきます。

おしまい!!